

とよなか

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

教え子を再び戦場に送るな！ 2014年1月22日発行NO. 519

道理のない賃金カット延長を撤回させよう
人勧にもとづく賃上げを！

職場決議の集中 1/29集会へ怒りの声を集めよう

昨年より越年して継続となつている賃金確定のたたかひについて、府労組連は1月17日、府と団体交渉を行いました。総務部長は、府人事委員会勧告にもとづく賃上げを今年4月より実施するとの考え方を示す一方で、賃金カットを「率を緩和して1年間延長」するという不当な提案を行いました。

公務員制度において極めて当たり前のこと」と述べています。

副知事の議会答弁と矛盾する不当な提案

さらに小西副知事は「給与減額は異例の事態における異例の措置」「長らく続けるべきではない」「給与減額を当然の前提として予算編成に臨む」ということは決してすべきではない」とも述べており、今回の賃金カット延長提案は、こうした副知事発言とも矛盾する不当極まりないものです。

大阪経済と教育・行政水準にも深刻な影響

①府人勧にもとづく賃上げを実施すること。賃金カットの延長には道理がなく、職員の合意は得られない。直ちに撤回すること。

②政府・財界も賃上げの必要性を認めている。府職員の賃上げが大阪経済活性化の原動力になる。

③この間の異常な賃下げによって「大阪から人が逃げる」状態が広がっている。

職員・教職員・警察官の希望者が大阪府を敬遠する動きも広がっており、これ以上のカットの継続は、今後の行政・教育水準の維持に深刻な困難を

府人勧にもとづく賃上げは当然のことであり、府議会本会議で小西副知事も「今年度の人事委員会勧告はこの6年間とそれ以前からの給与削減が反映されたもの」「人事委員会勧告で示された給与をお支払いするのは、

賃金カット財源の5.5倍もの貯金

交渉では、府の財政調整基金は1499億円にも及ぶことも明らかになりました。現在の賃金カット財源の5.5倍の金額

もたらすと、府労組連は当局を厳しく追及していきます。

府職員・民間の賃上げで景気回復を

松井知事あての「賃金カットの延長提案を撤回し、府人事委員会勧告にもとづく賃上げ実施を求める」職場決議をあげましょう。

そして、1月29日の府労組連決起集会に豊中からも怒りの声をあげましょう。

決起集会

午後4時半～

教育塔前



